

あ と が き

- 1 2022年4月に始まったロシアとウクライナの戦いの行方が見えないなか、2023年10月にはハマスとイスラエルの間で戦いが起き、かねてから「領土・民族・宗教」をめぐり争いが繰り返されてきた中東にも火の手が上がった。われわれは、「過去に学ぶどころか、過去を逆手にとり、人間同士が憎悪し、殺し合う」という道を選び今の時を刻んでいる。これが、「さらに燃え上がるのか」、「人智での解決の道に向かうことができるのか」、予断を許さない。
- 2 『海』第31号を、このような時期に発刊することになった。
- 3 今に始まったことではないが、同人誌作品と文壇あるいは商業誌作品との間に、見えない高い壁のごときものが存在するのを、最近とみに感じるようになった。
- 4 自分の経験からいうと、20代から50代の頃は、作品を書くに当たり、「公募に応募する」というモチベーションのもとに行ってきた。
- 5 それが、同人誌に作品を出し続けるうち、上記の思いがだんだん薄れ、年齢を重ねるとともに、いつしかその思いが消え去ろうとしている。
- 6 ここで断っておかねばならないのは、同人誌作品と文壇あるいは商業誌作品の、いずれが勝るか、などということの問題にしているのではない。
- 7 同人誌の方でいえば、「文芸思潮」、「季刊文科」、「三田文学」という文芸誌によって、同人誌作品の質を高め、奨励・称揚していこうという熱心な取り組みが現になされており、かねてから賛同し、深く感謝しているところである。
- 8 今問題にしたいのは、作品に取り組むモチベーションのことであり、実際自分は「公募に応募する」という思いを強くもってきたのだったが・・某氏との意見交換のなか、「今も、どうして、続けてやらないのですか」という鋭い問いにすぐに答えることができなかつた。
- 9 この煩悶を経て、個々の作品や、同人誌作品の向上のためには、「公募に応募する」という「(熱い) 思いを抱くことも尊重すべきではなからうか」と考えさせられたことである。
- 10 今号には「妄想」と題する2作品がある。揺れやまない、時代を映してのことであろうか。

〈お知らせ〉 今号以降、「『海』第二期」は、「初期『海』に回帰」することになり、次号の場合「『海』第99号」と表記を改めることとなります。(A)

(『海』冊子購読ご希望の方)

- ・ 1号1冊につき、500円でお求めできます。書店は、次のとおりです。
紀伊国屋書店福岡本店 (博多駅中央街)、 ジュンク堂福岡店 (天神)
福岡金文堂本店 (天神・新天町)
- ・ 全国のどの書店からでも注文でき、入手することができますので、ご利用願います。
- ・ 『海』第二期の作品は、下記ホームページの「各号作品 (公開)」からも閲覧できます。
- ・ 『海』ホームページ <http://1884165118841651.web.fc2.com/> (『海第二期』で検索可)

文芸同人誌 海 第二期 第31号(通巻第98号)

編集委員 有森信二、井本元義、上水敬由、仲西佳文、長野秀樹、牧草 泉 (50音順)

発行年月日 令和 6年 (2024年) 1月 1日

発行 海編集委員会 (委員会は、下記「編集発行人」のもとにあります)

編集発行人 有森信二 〒818-0101 太宰府市観世音寺1-15-33 (松本方)

電話 090-1976-8119 (携帯)

創刊 第二期：平成21年 (2009年) 6月20日

第一期：昭和62年 (1987年) 9月 1日

海宛メール bungeiuni2@gmail.com (+は@に書き換え願います)

発行所：(有)花書院 〒810-0012 福岡市中央区白金2-9-2 TEL092-526-0287

印刷、製本：城島印刷 (株) 福岡市中央区白金2-9-6 TEL092-531-7102